

キャラクター名 \_\_\_\_\_ プレイヤー名 \_\_\_\_\_  
寒河江流里（さがえるり）

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	フリーター
	ハヌマーン					
	オブショナル					
		年齢	15	性別	男	
覚醒	渴望	衝動	自傷		初期侵食率	33%
出自	犯罪者の子	経験	UGNへの畏怖		邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	11
感覚	2	0	1			3	(非装備時)	11
精神	2	1	2			5	戦闘移動	16
社会	2	0	0			2	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			R C	6		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識: ネットワーク	2		情報: UGN (EXP2消費)	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

[illegible]

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエクストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ライトスピード	1	5	マイナー	—	—	—	100 %	
効果： メインプロセスでメジャーアクションを2回行える。C+1。1シナリオ1回まで。								
サイレンの魔女	6	5	メジャー	視界	シーン(選択)	RC	—	
効果： [攻撃力： [LV] *3]装甲無視の射撃攻撃。《コンセントレイト》との組み合わせ不可。								
マシラのごとく	4	5	メジャー	—	単体	シンドローム	80 %	
効果： このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を「+ [LV] *10」する。判定のダイス-5個される。1シナリオ1回まで。								
スピードフォース	3	4	イニシアチブ	至近	自身	—	ピュア	
効果：イニシアチブプロセスにメインプロセスを行える。自分が未行動でないと使用不可。1シナリオLV回まで。他のエフェクトとの組み合わせ不可。								
疾風迅雷	3	3	メジャー	—	—	シンドローム	ピュア	
効果： ドッジ不可。1シナリオLV回数まで。								
スピードスター	1	3	セットアップ	至近	自身	—	Dロイス	
効果：1ラウンドの間ダメージに【行動値】を加える。このラウンドの間あらゆるリアクションが行えない。1シーンに1回まで使用可能。								
援護の風	7	2	オートアクション	視界	単体	—	—	
効果： 対象が判定を行う前に使用する。判定のダイス+Lv個する。1ラウンドに1回まで。								
ウィンドブレス	4	2	オートアクション	視界	単体	—	リミット	
効果： あなたが〈援護の風〉を使用する直前に宣言する。〈援護の風〉を使用した判定の達成値を+Lv×3する。								
軽功	★	—	常時	至近	自身	—	—	
効果： あなたがすさまじく身軽であり、垂直のビルの壁面や水面であろうとも走り抜ける事を表すエフェクト。								
無音の空間	★	—	メジャー	視界	単体	—	—	
効果： 自身や隠そうとする物を中心とする空間の音波伝達と匂いの放散を遮断することで気配を完全に消し去るエフェクト。								
効果：								
効果：								
効果：								

父子家庭だがそれなりに裕福な家に生まれた少年。  
父親がFHのとあるコミュニティに所属しているエージェント。

父は自らの欲望（本人曰く使命）に忠実な男だった。  
最初はそんな父を尊敬し、彼の跡を継ぐような男になりたいと考えていた。  
流里は忙しなく、くに会話も出来ない彼に認めてもらえるよう、自分なりの努力を積む。

だがある日流里は気が付く。父は自分のことなどまるで見ていないことに。  
尊敬する人から好かれたい、親から好かれたい。望まれたい。  
普通の家なら誰しもが勝手に与えられるような無償の愛はいつまで経っても訪れない。

流里がオーヴァードとして目覚めたのは、そんなある日のことだった。

愛してもらえないなら、憎まれればいい。  
そうすれば視線だけは貰える。  
だから、少年は家を出て、その足でUGNへ向かった。  
父親と敵対するために。  
そして、いつか自分を認識してもらうために。  
これが流里の生きる理由だ。  
それが満たされた瞬間に、父親の目の前で死んで、彼の記憶に自分の存在を刻み込むことが目標だ。

現在はUGNエージェントとして中卒で働いている作業員。